

「男女共生社会」の実現にはずみ



10月31日の記念式典で。右から森川珠里さん(明德小学校)、石塚秀博・市議会副議長、穂積市長、中村順子・秋田市男女共生推進会議会長、見上万里子・市議会厚生委員会委員長の5人が宣言文を読み上げました

秋田市男女共生推進都市宣言

私たち秋田市民は、水と緑が豊かな、四季折々の自然あふれる美しいまちで、歴史と文化を育んできました。

このまちで、誰もが互いに尊重しあい、一人ひとりの個性や能力が活かされる社会をともに築いていくため、私たちはここに「男女共生推進都市」を宣言します。

- 1 性別によって役割が決まることのない、みんなが共生できるまちをめざします。
- 1 みんなの人権が尊重され、誰もが尊厳を持って生きることができるまちをめざします。
- 1 みんなが個性と能力を発揮する多様性に富んだ活力あるまちをめざします。
- 1 男女共生理念のもと、みんなで支えあうまちをめざします。

秋田市では、誰もが互いの人権を認め合い、一人ひとりの個性や能力を発揮できる「男女共生社会」の実現をめざしています。

10月31日、11月1日には秋田拠点センターアルヴェで、「日本女性会議2016秋田」プレイベント「第25回秋田市男女共生フォーラム」を開催し、この中で、男女共生社会の実現に積極的に取り組んで行くことや、「日本女性会議2016秋田」開催のほずみとするため、「秋田市男女共生推進都市宣言」を行いました。宣言文は左記のとおりです。

来年10月28日(金)～30日(日) 日本女性会議2016秋田を開催します

「日本女性会議」は、男女共同参画に関する国内最大の会議として、女性を取り巻く課題の解決策を探るとともに、参加者同士の交流促進などを目的に、30年以上にわたり各都市で開催されています。

来年開催される秋田大会では、記念講演、シンポジウム、分科会などを行う予定です。

◆大会テーマ

みつめてみつめてあなたと私
多様性(ダイバーシティ)とは、

中鉢美之さん作

◆大会シンボルマーク



日本女性会議 2016 秋田

小山内毬絵さん作
(秋田公立美術大学1年)

●問い合わせ

市民協働・地域分権推進課

☎(066)2785

●「日本女性会議2016秋田」の情報は、こちらの公式ホームページでも

<http://jwc2016.akita.jp/>

★ 明るい選挙啓発ポスター入賞作品

平成27年度の明るい選挙啓発ポスターの作品募集に、市内小・中学校から103点の応募をいただきました。入賞者は次のみなさんです。

秋田市選挙管理委員会

☎(066)2260

■秋田市審査 敬称略



秋田市明るい選挙推進協議会会長賞
根田雛子
(飯島中2年)



秋田市選挙管理委員会委員長賞
野坂 迅
(保戸野小6年)

入選▼佐藤 茜・佐藤羽瑠菜(飯島中3年)、工藤真理子(保戸野小6年)、渡辺真名(桜小1年)

■秋田県審査 敬称略

優秀賞▼佐藤羽瑠菜(飯島中3年)、田村実樹(川尻小6年)、渡辺真名(桜小1年)

入選▼佐藤 茜(飯島中3年)、滝本理紗・畠中萌花(川尻小6年)

ポスター展覧会を開催!

12月14日(月)～24日(木)

▼東部市民サービスセンター

1月8日(金)～18日(月)

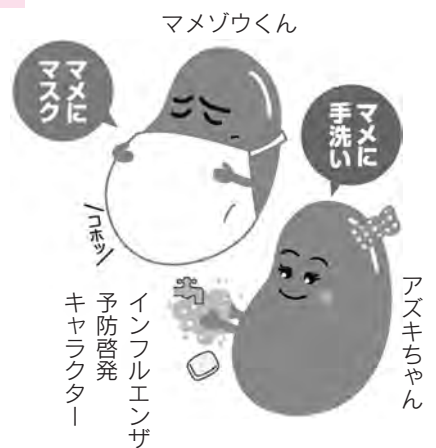
▼北部市民サービスセンター

みんなで予防!

インフルエンザにかからないために

これが感染経路!

飛沫感染^{ひまつぶせ}・インフルエンザウイルスに感染した人の咳やくしゃみに混じるウイルスを、直接吸い込み感染する接触感染^{せつしつかん}・不特定多数の人が触るドアノブや電気のスイッチなどに付着したウイルスを、後から触ることで感染する



1 「咳エチケット」を守ろう

- ① 他の人に向けて咳やくしゃみを受けない
- ② 手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときは、すぐに手を洗う
- ③ 鼻汁、痰を含んだティッシュはすぐにふた付きのごみ箱に捨てるか、ビニール袋に入れて密封する
- ④ 咳やくしゃみが出るときはマスクをする。マスクは不織布製のものを、毎日使い捨てるのがお勧め

2

外出後は、流水と石けんで十分に手を洗いましょ

正しい手洗い方法

- ① 流水で両手を十分に濡らす
- ② 石けんを泡立て、手首から5秒上まで、15秒30秒間もみ洗い
- ③ 手のひらと甲をこすり洗い
- ④ 汚れが付きやすい指先、爪は入念に洗う。指の間、親指、手首も
- ⑤ 指先を上に向け、流水で洗い流す
- ⑥ 洗った手は、よく乾いた清潔なタオルで拭く



3

部屋の乾燥を防ぐため、加湿器などで、湿度を適切(50%~60%)に保つことも効果的です

4

体の抵抗力を高めるため、十分な栄養とバランスの取れた栄養を取りましょ

5

インフルエンザが流行してきたら、人混みへの外出は控えましょ

*特に高齢者や基礎疾患のあるかた、疲労気味、睡眠不足のかたは、人混みへの不要不急な外出は控えましょ。やむを得ない場合は、不織布製マスクを着用し、短時間で済ませましょ。

6 流行前に予防接種を

インフルエンザにかかっても「発症をある程度抑える」「肺炎や脳症などの重い合併症になるのを防ぐ」などの効果が期待できます。予防効果の期間は、接種した2週間後から5か月程度と考えられています。

なお、今シーズンからインフルエンザワクチンが4種類(A型2種類、B型2種類)に増え、予防できるウイルスの種類が増えました。

また、65歳以上のかたのインフルエンザ定期予防接種を来年2月29日(月)まで実施しています。詳しくは、広報あきた10月2日号か健康管理課ホームページをご覧ください。

問い合わせ▼
健康管理課 ☎(0883)1180
ホームページ▼
<http://www.city.akita.jp/city/hl/hm/kansen.htm>

インフルエンザにかかってしまったら
▼早めに医療機関を受診
▼安静にする
▼十分な栄養
▼十分な睡眠
▼十分な水分補給
▼薬は医師の指示に従い、正しく服用
▼咳やくしゃみが出るときはマスクを着用

発病前日から発病後3~7日間はウイルスを排出するといわれています。排出するウイルスの量は解熱とともに減少しますが、解熱後もウイルスを排出すると言われています。現在、学校保健安全法では、インフルエンザによる出席停止期間を「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまで」としています。